au by KDDI

au W31T USBドライバ インストールマニュアル

このマニュアルでは、「au W31T USBドライバ」(以下、USBドライバといいます)をパソコンにインストールする手順について説明しています。
W31TとパソコンをUSBケーブルWIN(別売)で接続して、PacketWINなどのアプリケーションをご利用いただくためには、あらかじめパソコンにUSBドライバをインストールしておく必要があります。

●本製品は日本国外ではご利用になれません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
●Microsoft®およびWindows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。特に本文中では、®マーク、™マークは明記しておりません。
●Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。
●本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断では使用できませんのでご注意ください。
●本書および本ソフトウェア使用により生じた損害に関して、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

W31TUSB-DL01
発行元:株式会社東芝

目　次

USBドライバの動作環境

対応OS ：Windows 2000およびWindows XP（Windows 98／Meではご使用いただけません）

パソコン ：USB1.1以上に準拠しているUSB搭載のパソコンで、Windows 2000およびWindows XP がプリインストールされているDOS/V互換機（OSアップグレード環境では、ご使用いただけない場合があります）。

ご注意

・W31T以外の携帯電話機では使用できません。
・上記の対応OSおよびパソコンであっても、その全てについて動作保証するものではありません。
・パソコンにUSBドライバをインストールした後、USBケーブルWINを異なるUSBポートに接続しますと、新たな機器が接続されたと認識し、COMポート番号が変更されます。常に同じUSBポートに接続してご使用ください。
・W31Tとパソコンを接続しての通信中にはコネクタをはずさないでください。通信中のデータが失われることがあります。
・他のUSB機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。
・本書内で使用されている表示画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

USBドライバをインストールする

USBドライバをパソコンにインストールする手順について説明します。
Windows XPをお使いの場合はこのページからお読みください。Windows 2000をお使いの場合は6ページからお読みください。

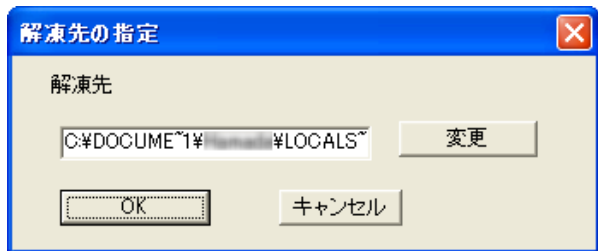
インストールする前に

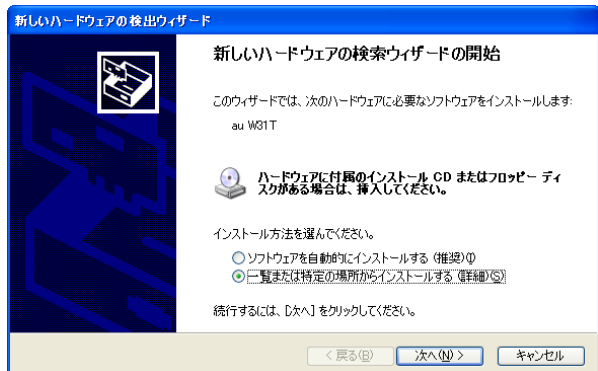
・ドライバのインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。
・Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。

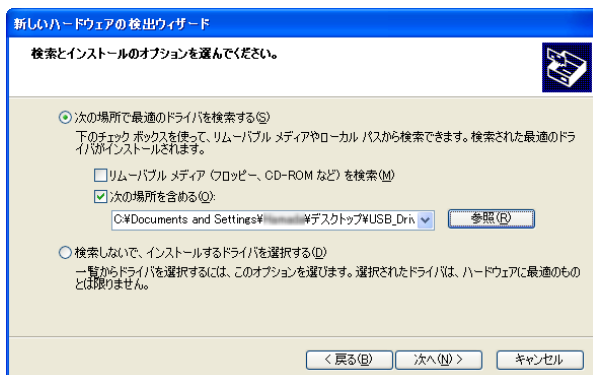
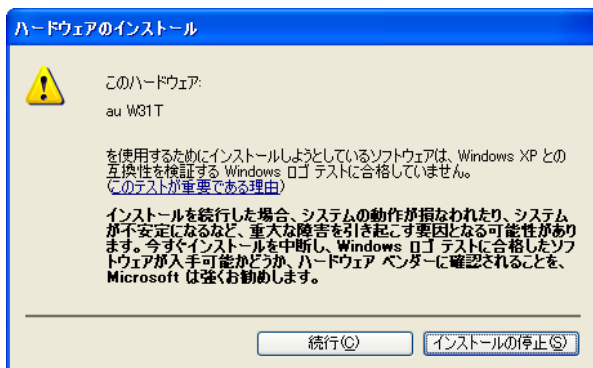
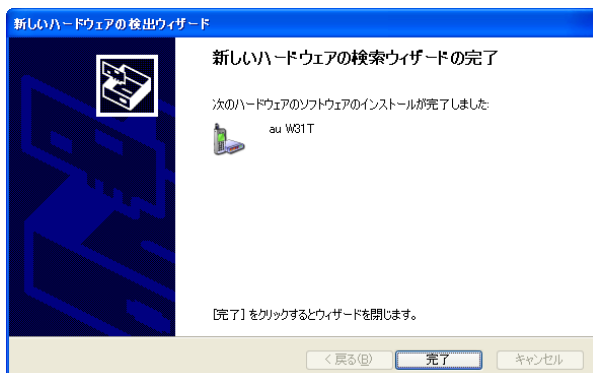
Windows XPをお使いの場合

1. 「W31T USBドライバダウンロードサイト」の指示にしたがい操作し、「w31t_driver.exe」(USBドライバ)をデスクトップなどの分かりやすい場所に保存してください。
※このときはまだUSBケーブルWINをパソコンに接続しないでください。

w31t_driver.exe

2. 保存した「w31t_driver.exe」をダブルクリックすると解凍先の指定画面が表示されますので「変更」をクリックし、解凍先をデスクトップなどに指定して「OK」をクリックしてください。

3. W31Tの電源を入れて、USBケーブルWINでパソコンのUSBポートに接続します。

4. "新しいハードウェアの検索ウィザードの開始"が表示されたら、"一覧または特定の場所からインストールする(詳細)"を選択して、「次へ」をクリックします。
※Windows XP SP2の場合は、確認画面が表示され「次へ」をクリックすると、右の画面になります。

5. “検索とインストールのオプションを選んでください。” で「次の場所を含める」をチェックして「参照」をクリックします。

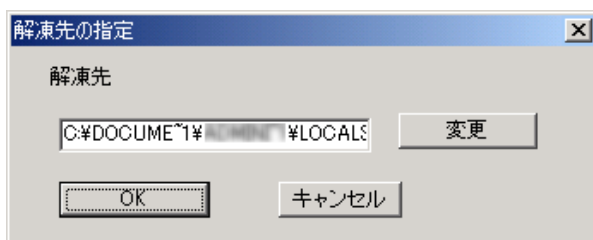
USBドライバファイルを解凍したフォルダ内の「Win2000_XP」フォルダを指定し、「次へ」をクリックします。

6. 右の画面が表示されます。そのまま「続行」をクリックします。

7. “新しいハードウェアの検索ウィザードの完了” が表示されたら、「完了」をクリックします。

8. モデムのインストールに続いて、シリアルポートのインストールが始まります。***4***～***7***の手順を繰り返してください。

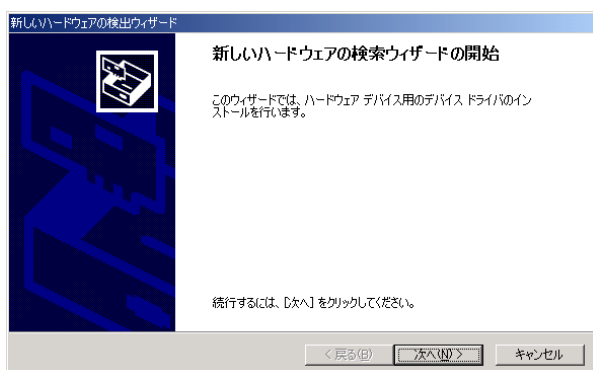
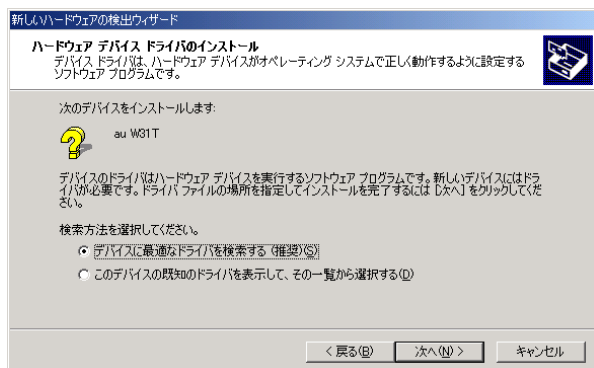
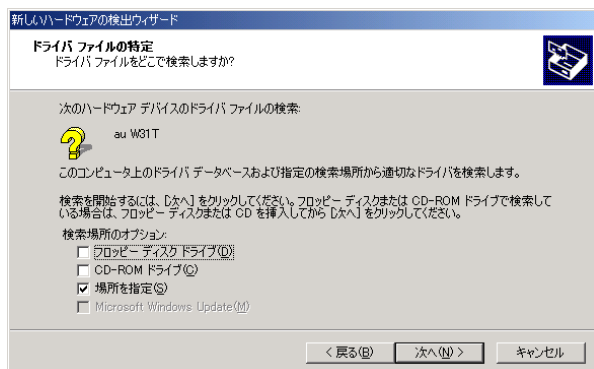
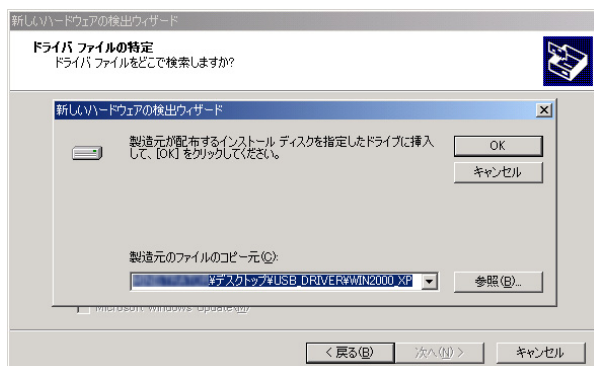
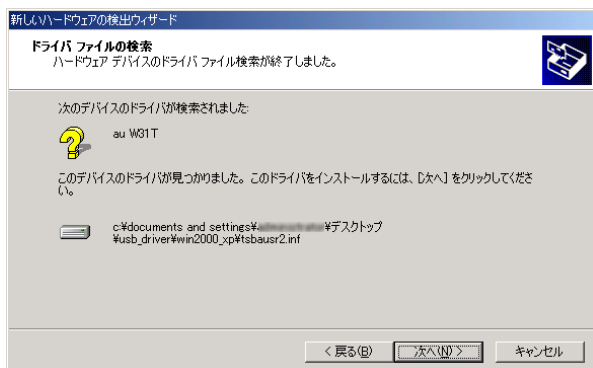
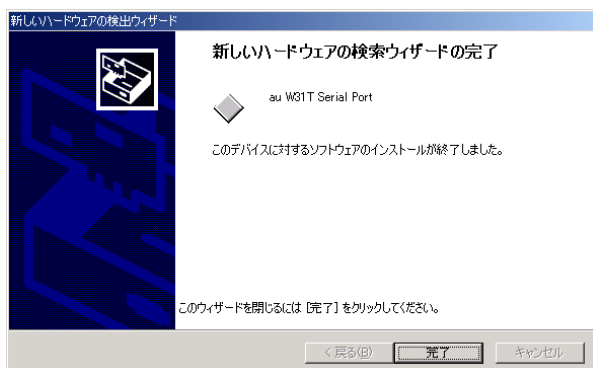
シリアルポートのインストールでは、各ダイアログのハードウェア名は“au W31T Serial Port ”と表示されます。

9. 「インストールの確認」（P.9）にしたがって、正常にインストールされたことを確認してください。

Windows 2000をお使いの場合

1. 「W31T USBドライバダウンロードサイト」の指示にしたがい操作し、「w31t_driver.exe」（USBドライバ）をデスクトップなどに保存してください。
※このときはまだUSBケーブルWINをパソコンに接続しないでください。

2. 保存した「w31t_driver.exe」をダブルクリックすると解凍先の指定画面が表示されますので「変更」をクリックし、解凍先をデスクトップなどに指定して「OK」をクリックしてください。

3. W31Tの電源を入れて、USBケーブルWINでパソコンのUSBポートに接続します。

4. “新しいハードウェアの検索ウィザードの開始”が表示されたら、「次へ」をクリックします。

5. “ハードウェア デバイス ドライバのインストール”が表示されたら、右の状態で「次へ」をクリックします。

6. “ドライバファイルの特定”が表示されたら、「場所を指定」をチェックして、「次へ」をクリックします。

7. “製造元のファイルとコピー元”の「参照」をクリックしてUSBドライバファイルを解凍したフォルダ内の「Win2000_XP」フォルダを指定し、「OK」をクリックします。

8. “ドライバファイルの検索”が表示されたら、「次へ」をクリックします。

9. “新しいハードウェアの検索ウィザードの完了”が表示されたら、「完了」をクリックします。

10. シリアルポートのインストールに続いて、モデムのインストールが始まります。***4***～***9***の手順を繰り返してください。

モデムのインストールでは、手順***7***の後に右の画面が表示されます。そのまま「はい」をクリックしてください。

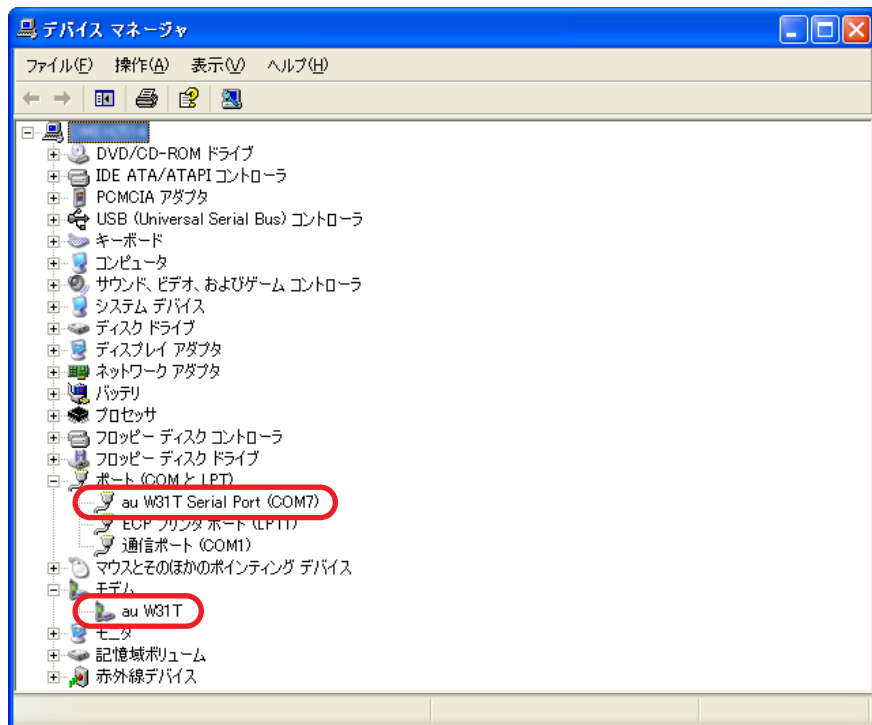
11. 「インストールの確認」（P.9）にしたがって、正常にインストールされたことを確認してください。

インストールの確認

※画面はWindows XPのものですが、Windows 2000でも手順は同じです。

ドライバが正しくインストールされているかは、デバイスマネージャを開いて確認します。

1. 「コントロールパネル」内の「システム」をダブルクリックします。

2. 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。

“ポート（COMとLPT）”の下の階層にau W31T Serial Port（COM*)、“モデム”の下の階層にau W31Tが表示されていることを確認してください。

*：ポート番号はお使いの環境によって異なります。

USBドライバをアンインストールする

※画面はWindows XPのものですが、Windows 2000でも手順は同じです。

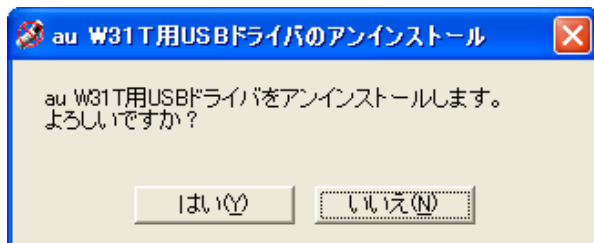
ドライバをアンインストールする場合は、「w31t_driver.exe」（USBドライバ）を解凍したフォルダに入っているアンインストーラ（Uninst.exe）を使用してください。また「readme.txt」もお読みください。

アンインストールする前に

・ドライバのアンインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。
・Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
・アンインストール後にパソコンの再起動を行います。編集中のファイルを保存しておいてください。

1. 解凍したフォルダの「Uninstall」フォルダ内にある「Uninst.exe」をダブルクリックします。

※USBケーブルWINをパソコンに接続しないでください。

2. 表示されたダイアログの「はい」をクリックします。

3. パソコンを再起動します。

モデムコマンド一覧

Sレジスタ

通信端末として使用するための設定です。

レジスタ	内容	単位	初期値	設定範囲
S0	自動着信するまでのリング回数	回	0（手動）	0~255
S3	CRキャラクタコードの設定	—	13	13のみ
S4	LFキャラクタコードの設定	—	10	10のみ
S5	BSキャラクタコードの設定	—	8	8のみ
S6	ダイヤル開始までの待ち時間の設定	秒	2	2~10
S7	キャリア検出許容時間	秒	50	1~50
S8	ダイヤルコマンドのポーズ（“、”）時間	秒	2	0~255
S9	キャリア確定許容時間	0.1秒	6	0~255
S10	キャリア損失許容時間	0.1秒	14	0~255

リザルトコード

回線の動作状態をパソコンに通知します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドの正常実行
1	CONNECT	オンラインモードに移行
2	RING	着信中
3	NO CARRIER	オフラインモードに移行
4	ERROR	認識できないコマンド
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが認識できない
7	BUSY	相手話し中
8	NO ANSWER	応答無し
29	DELAYED	発信規制中

ATコマンド

ATコマンドは“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は“OK”を返します。
なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	機能	説明
/A	コマンド再実行	直前のATコマンドを再度実行
ATA	着信応答	アンサーモードへ移行し着信応答する
ATD	ダイヤル発信	ダイヤル発信する
ATEn	コマンドエコー	コマンドキャラクターのエコーバック n=0：コマンドエコーしない n=1：コマンドエコーする（初期値）
ATH	オフフック	オフライン状態への移行
ATO	オンフック	オンライン状態への移行
ATP	パルスダイヤル	パルスダイヤルの選択
ATQn	リザルトコード設定	リザルトコードをパソコンへ返す n=0：リザルトコードを返す n=1：リザルトコードを返さない（初期値）
ATT	トーンダイヤル	トーンダイヤルの選択
ATVn	リザルトコード選択	リザルトコードの種類を選択 n=0：数字形式 n=1：文字形式（初期値）
ATXn	リザルトコード範囲	リザルトコードの範囲を選択 n=1：“NO DIALTONE”と“BUSY”は返さない n=2：“BUSY”は返さない n=3：“NO DIALTONE”は返さない n=4：全て返す（初期値）
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態への初期化
AT&Cn	DCD制御 ※初期値でお使いください	DCD（受信キャリア検出）の制御 n=0：常にDCDをON n=1：パケット通信がアクティブのときのみON（初期値）
AT&Dn	DTR制御 ※初期値でお使いください	DTR（データ端末レディ）の制御 n=0：常にDTRを無視 n=1：オンライン状態でDTR信号がONになるとオンラインコマンドへ移行 n=2：オンライン状態でDTR信号がONになると回線を切断しオフラインコマンドへ移行（初期値）
AT&F	工場出荷への初期化	各種ATコマンドのパラメータを工場出荷設定値に戻す
ATSr?	Sレジスタの内容表示	[r]で指定したSレジスタの内容をパソコンに返します
ATI	アイデンティフィケーション	電話機情報を示します。 Model：W31T Type：CDMA 1xWIN Manufacturer：Made by TOSHIBA Corporation Phone Number：0x0xxxxxxxx（※）

※Phone Numberは電話機の電話番号ですので電話機により異なります。

よくあるご質問

Q： このUSBドライバを「W31T」以外の携帯電話機で使用してもいいですか？

A： 本ドライバは「W31T」専用のUSBドライバです。他の携帯電話機ではお使いにはなれません。

Q： USBドライバが正しくインストールできませんでした。どうしたらいいでしょうか？

A：「アンインストーラ」を使用して、ドライバをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

Q： インストール後、「デバイスマネージャ」で正しくインストールできたことを確認できませんでした。どうしたらいいでしょうか？

A：「デバイスマネージャ」の「表示」設定を「デバイス（種類別）」に設定してください。それでも確認ができない場合や、「？」や「！」といったマークが表示されている場合は、「アンインストーラ」を使用して、ドライバをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

Q： その他、USBドライバについて質問があるのですが。

A： 下記の窓口へご連絡ください。

株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社
お客様ご相談窓口
URL　https://www.webcom.toshiba.co.jp/jp/inq/
電話番号　0120-924-137
※営業時間　9:00-12:00 13:00-17:00（土曜、日曜、祝日、当社特定休日を除く）
※上記窓口へのご相談はUSBドライバに関するお問い合わせに限らせていただきます。